

会社名・組織名:	株式会社〇〇〇〇〇	受付番号	記入不要
----------	-----------	------	------

全般	<p>1. 貴社のビジネスの特徴や強み、あるいは同業他社と比べて優れている点を記載してください。</p> <p>地域に浸透した企業として、顧客 購買履歴情報を活用した御用聞きや先取り提案など、地域に根ざした、かゆい所に手が届く顧客サービスを実践し、それを継続するため、自社 目標を IT 活用により全社員で共有し、社員 スキルアップも含めた課題 重点化により競争力を維持している。</p> <p>IT 経営によって実現された特徴などを記載してください。同業他社と比べて優れている点や、他社にない固有ビジネスモデルがあれば、その点についても記載して下さい。</p> <p>業界別に想定される記載例を以下に示しますので、参考にしてください。</p> <p>○品質、コスト、納期に対する顧客要求が厳しくなる中で、蓄積された技術ノウハウ データベースを活用し、特殊加工技術市場において多く信頼を得ている。(製造例)</p> <p>○顧客データベースを最大限に活用し、顧客ニーズを先取りしながら、きめ細かい納品 対応や、提案販売で、お客様立場に立った事業を展開している。(小売流通業例)</p> <p>○挨拶状に特化した印刷サービスを、インターネットを通じて行っているが、文面印刷 だけでなく、発送など付随する作業にも対応するなど、顧客の細かなニーズに対応で けることが強みである。(ネット販売の例)</p>
	<p>取り組み開始時期</p> <p>今回の応募における成果につながる取り組みの開始時期を記載してください。 平成(25)年 (概ね5年以内の取り組みとしてください)</p>

I. 認識すべき経営の状況と達成目標について	<p>1. 攻めのIT経営に取り組んだ時点での、市場や顧客動向、競合他社の動向など企業を取り巻く環境の状況《外部環境①-⑫》、および社内で解決すべき問題の状況《内部問題 a-j》についての認識として、該当する項目すべてに○印を記入してください。</p> <p>(○)①需要の急変や低迷・縮小 ()②取引条件変更の要請 ()③輸入品・外資を含む市場競争激化 ()④短納期の要請 ()⑤低価格化の要請 ()⑥高品質の要請 ()⑦顧客嗜好の変化・多様化 ()⑧原材料価格、仕入原価等の上昇 ()⑨グローバル化の進展・拡大 ()⑩業界の技術変化 ()⑪法制度等の変更 ()⑫その他の外部環境()</p> <p>()a.売上・利益の減少 (○)b.固定費・コスト問題 ()c.品質問題 ()d.業務スピード・業務効率化問題 ()e.従業員の意識低下 ()f.人材の高齢化・退職対策 ()g.人材育成と技術力・競争力対策 ()h.コミュニケーションの不足 ()i.業務の見える化・企業統制の不備 ()j.その他の内部問題()</p>
	<p>2. 上記の状況認識を踏まえて、取り組み開始時点で達成すべきと考えた目標《達成目標》について、該当する項目すべてに○印を記入してください。</p> <p>()①自立した経営(下請け脱出) ()②自社製品・自社ブランド (○)③強い商品・サービス確立 ()④事業連携による強い競争力 ()⑤売上・利益拡大 ()⑥新規分野進出 ()⑦グローバル化対応 ()⑧既存事業顧客の維持拡大 ()⑨新規顧客の獲得 ()⑩業務の見える化管理水準向上 ()⑪人材育成と技術力・競争力向上 ()⑫従業員の意識向上 ()⑬その他の達成目標()</p>
	<p>3. 上記項目1. の現状認識をもとに、項目2. の達成目標を決定し取組んだ経緯を、それぞれ該当する項目の内容も含めて、具体的に記載してください。</p> <p>《企業を取り巻く外部環境》</p> <p>景気後退や世界的な金融危機の影響、その後 東日本大震災の影響により、需要の減少傾向が続いていた。また、低価格でサービスを提供する同業他社の進出で、価格競争を主とする競争が激化していた。併せて、顧客の嗜好も変化・多様化し、従来 やり方での、顧客要求に対応しきれないという傾向が明確になっていた。</p> <p>具体的に</p> <p>《取組の経緯》</p> <p>顧客ニーズの再調査を実施、自社の強みを生かしたニーズに合った商品開発を志向する。 商品開発には地元大学の支援を得ることで、独自の商品を開発することができた。</p>

Ⅱ 達成目標を実現するための方策	1. 攻めのIT経営実践の対象となった業務について、該当する項目すべてに○印を記入してください。		
	() ①企画 () ④購買・調達 () ⑦営業・販売 () ⑩その他()	() ②広報 (○) ⑤生産・製造 () ⑧請求・支払・会計処理	(○) ③開発・設計 () ⑥物流・在庫管理 () ⑨総務・人事
	2. 達成目標を実現するために活用した方策について、該当する項目すべてに○印を記入してください。		
	() ①販売管理、生産管理等業務用アプリケーション・パッケージの活用 () ②ERP 等統合型業務用アプリケーションの活用 (○) ④自社専用業務システムの開発・活用 (○) ⑥データ分析・情報分析ツールの活用 () ⑧EDI等社外との商取引や業務情報連携のシステムの活用 () ⑨メールや遠隔地アクセスのためのインターネット通信サービスの活用 () ⑩ホームページ(web サイト)、SNS等社外向け情報発信ツールの活用 () ⑪ケイタイ、スマホ、タブレット等スマートデバイスの活用 () ⑫社内LANおよびサーバー等ファイル共有システムの活用 (○) ⑬社内ネットワークやグループウェアなどのコミュニケーションシステムの活用 () ⑭IC タグ、3D、ARなどのIT関連新技術の活用 () ⑯情報セキュリティ関連システムの活用 () ⑰その他 IT 活用以外も含めた方策()		
	3. 上記2. で選択した方策のうち、達成目標実現と関連の強かった項目(最大3項目)について、それぞれ具体的な活用内容を記載してください。(※IT 活用以外に組み込んだ方策も併せて記載してください。)		
	主要項目: ④⑤⑬ (具体的内容) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">具体的に</div> <p>生産作業には、モノ作り以外にも生産情報を社内に展開する業務があります。例えば、生産数、不良情報、検査データ、生産設備の条件、設備停止、トレーサビリティの報告業務があります。</p> <p>システム部門では、生産作業者が、モノ作りに専念していただくために製造事務作業(報告作業)を無くす活動を進めてきました。</p> <p>我々が開発したシステムは、生産設備の信号を受信して生産実績としてデータベースに書き込む、設備停止情報は、設備から信号が 5 分以上来なかったら設備停止としてカウントする。また、不良情報、検査データは、現場に設置しているPCから入力するシステムを構築しました。</p> <p>このことにより、現場の作業者は、モノ作りに専念することができ、作業効率をアップすることが出来ました。また、現場から得られた情報は、WEB 画面にリアルタイムに表示され、社内に保有する全PC で閲覧可能としています。この WEB には、傾向管理、生産履歴管理、稼働率管理、トレーサビリティ管理が実装されています。</p> <p>敷地外の工場は、専用線で繋ぎ安定した情報管理を行っています。</p>		
	4. 上記2. で選択した方策において、IT ベンダまたは市販のアプリケーション等を利用した場合は、その企業名と委託業務、利用したサービス又は商品名を記載してください。		
	IT ベンダ(企業名)		委託業務・サービス内容又は商品名(パッケージソフト名)
	(株)XYZ○○		自社専用システムの開発を委託
Ⅲ 攻めのIT経営推進の取組	1. 攻めのIT経営を進める上で、経営者はどのようにに関わり、どのような役割を担いましたか。該当する項目に○印を記入してください。《経営者の役割》		
	(○) ①自ら方針を決め、自ら先導した () ②自ら方針を決め、実施はキーマンに委ねた () ③キーマンの提案を承認し、キーマンに実施を委ねた () ④その他()		
	2. 攻めのIT経営の推進に大きく貢献した社内人材(キーマン)は、どのような役職ですか。また、どのような役割を担ったか、該当する項目に○印を記入してください。《キーマンの役割》		
	(○) ①経営者の指示の元に、攻めのIT経営を推進した () ②経営者と常に連携しながら、攻めのIT経営を推進した () ③経営者に成代わって、攻めのIT経営を推進した () ④その他()		
	3. 攻めのIT経営を実践する際に利用した外部人材等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《外部人材》		
(○) ①IT コーディネータ () ②中小企業診断士 (○) ③IT ベンダ () ④行政機関 (○) ⑤中小企業支援機関(商工団体等) () ⑥その他の外部人材			
4. 攻めのIT経営を実践する際に利用した支援施策等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《支援施策等》			

【注意事項】

応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

	<p><国・自治体等公的機関の支援施策></p> <p>()①攻めのIT経営支援団体(ITコーディネータ協会や商工団体等を含む)のIT利活用研修・セミナー</p> <p>(○)②商工団体等の支援機関の窓口相談 ()③専門家派遣</p> <p>()④ITベンダとのマッチング交流会 ()⑤公的機関Webサイト(IT経営ポータルのHP等)</p> <p>(○)⑥政府系金融機関の低利融資 ()⑦税制(中小企業投資促進税制等)</p> <p>()⑧地方自治体のIT化支援(具体名称:)</p> <p>()⑨その他()</p> <p><民間機関等の活用></p> <p>()⑩民間企業主催のIT研修 ()⑪民間コンサルタントに対する相談</p> <p>()⑫民間金融機関の融資 ()⑬その他()</p> <p>()⑭特にどちらの施策も利用しなかった(自己資金、社内人材等で対応)</p>
	<p>5. 上記3. および4. で選択した外部人材または支援施策等のうち、攻めのIT経営の推進に最も貢献した項目を1つ選び、その貢献内容について記載してください。</p>
	<p>最も貢献のあった外部人材: ③ 最も貢献のあった支援施策:</p> <p>(貢献の内容)</p> <p>ITベンダは、システム開発会社としての役割を超えて、社内の業務改善のアドバイス、提案を数多く提起して頂いた。</p> <p>例: 現品票を生産前に大量に印刷して仕訳しながら利用⇒生産実績に準じて必要数だけを印刷する等</p>
	<p>6. 攻めのIT経営を推進した成果が実現(実感)できた背景やその要因について、該当する項目すべてに○印を記入してください。</p>
	<p>(○)①経営者の問題意識や強い思い (○)②経営課題や目的・目標の明確化</p> <p>()③推進キーマンの主体的・広範囲な活動 ()④事業や業務プロセスの整備を伴う推進</p> <p>()⑤スピードや期日を意識した計画的な推進 (○)⑥経営者と社員との一体化した推進</p> <p>()⑦攻めのIT経営推進過程でのリスク評価と対応の的確さ ()⑧人材の育成や評価とリンクした推進</p> <p>()⑨社外専門家を有効に活用できた ()⑩支援制度を有効に活用できた</p> <p>()⑪その他()</p>
	<p>7. 上記6. で選択した要因のうち、最も影響の大きかった項目1つについて、具体的に記載してください。</p>
	<p>最も影響の大きかった項目: ⑥</p> <p>(具体的内容)</p> <p>社長自らがプロジェクトオーナーとなる組織体制。関連部門が仕様決定から参加するプロジェクト会議。製造担当が早いタイミングからテスト運用に参画</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">具体的に</div>
<p>IV. 攻めのIT経営実践の成果について</p>	<p>1. 攻めのIT経営を実践した成果について、該当する項目すべてに○印を記入してください。</p>
	<p>(○)①売上・利益の確保 ()②商品・サービスの付加価値の向上</p> <p>()③強みや特徴の確立 ()④知名度、ブランド力向上</p> <p>(○)⑤顧客満足度向上、既存顧客拡大 ()⑥市場開拓・販路拡大、新規顧客拡大</p> <p>()⑦他社との協業等による事業拡大 ()⑧新規事業、新しいビジネスモデルの創出</p> <p>()⑨経営数値に基づく経営判断 (○)⑩迅速な意思決定・経営判断</p> <p>()⑪リードタイム短縮(期間短縮) ()⑫品質改善</p> <p>()⑬人件費、賃借料等の固定費削減 (○)⑭原材料、外注、商品仕入等の変動費削減</p> <p>()⑮社内(社員間)の情報共有 ()⑯社外との情報交換</p> <p>()⑰技能の継承や技術者の育成・社員の意識向上 ()⑰人材の確保や正しい評価等</p> <p>()⑱コンプライアンスや内部統制の厳格化 ()⑳その他()</p>
	<p>2. 上記1. で選択した成果のうち、主要な項目を最大3項目選んでください。 ① ⑤ ⑩</p>
	<p>3. 上記2. で選択した主要な項目について、それぞれの成果内容を、開始時点(概ね5年以内)と現時点との違いが、定量的に分かるように記載してください。</p>

【注意事項】

応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

（定量的成果の内容）（“①売上増大、利益の確保”の成果とその実現経緯については、必ず記載してください。）

- ・売上高倍増した。 200百万円 ⇒ 400百万円
- ・社員スキルアップによる顧客満足度向上により、各店舗再来店客が65%から75%に向上した。
- ・店舗数も11店から15店に増加した。
- ・各店舗売上情報や稼働情報などが共有されたことで効率化が進み、人件費が10%削減できた。

具体的に

4. 上記3. と同様、開始時点と現時点を比較した定性的な成果を、具体的に記載してください。

（定性的成果の内容）

- ・社員スキルアップにより、顧客満足度が向上した。（再来店率向上につながった）
- ・知名度向上やブランド力強化ができたことにより、店舗数増加に寄与した。
- ・各店舗 売上情報や稼働情報 見える化や、情報共有により、社員連携力が高まった。
- ・社員 定着率が向上 傾向にある。

具体的に

V 関連資料

【1. IT 活用概念図】

※業務フロー、システム概念図等、事業全体と取組対象業務やシステム全体と応募事例でのIT 活用の関係がわかる図を添付してください。（空白ページに貼り付けてください。**最大4頁の制限を超えても構いません**）

【2. 組織図】

※組織図（概略図）があれば添付してください。（空白ページに貼り付けてください。**最大4頁の制限を超えても構いません**）

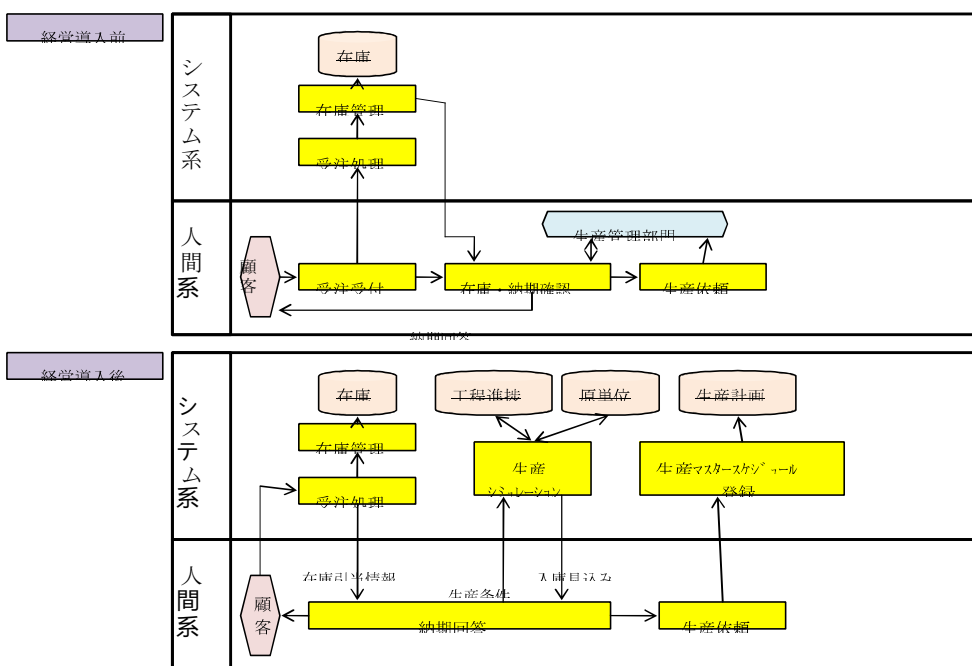
V. 関連資料：IT 活用概念図 例

《ワークフローのサンプル》

業務フローとシステム化の関係について、IT 導入前と導入後での違いを表してください。

ワークフロー 作成サンプル

人手 業務と IT による業務分担を表現することにより IT 活用度違いを分かり易く表現した事例

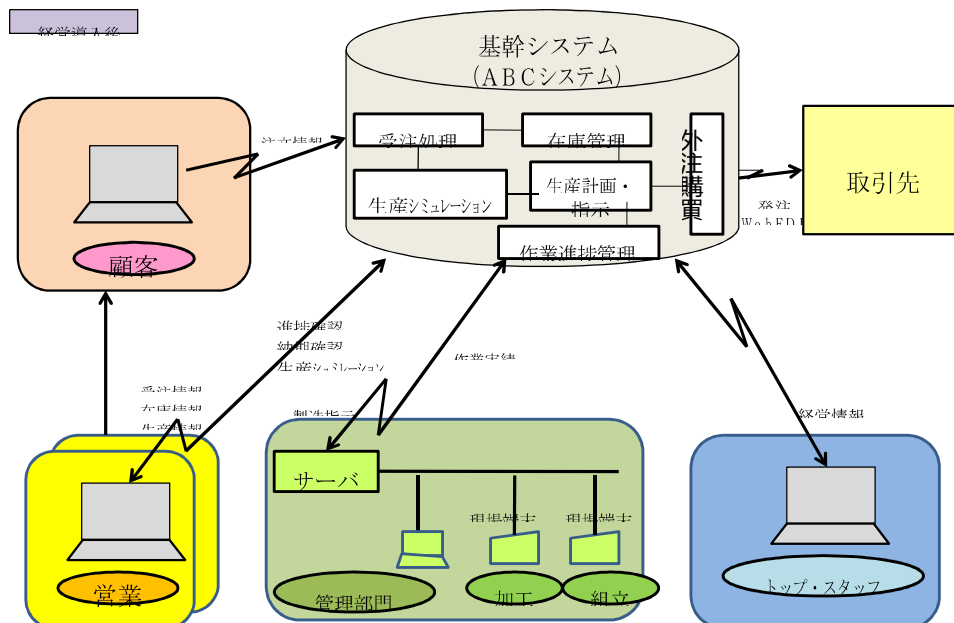


《システム概念図のサンプル事例》

システムの全体概要や特徴が一目でわかるように表示してください。

システム概念図 作成サンプル

情報活用や部門間で 情報連携など、情報中心にシステム全体 特長を表現した事例



V. 関連資料：組織図 例

以下は、IT 経営推進体制を含む組織図の例を示す。

